

県内景況情報

3月期

● 製造業

〈食料品〉

〔乳業製造業〕

最近の重油・ガスの値上がりや石化製品を使用する包材料の高騰は収支を圧迫している。さらに、電気代値上げも経営に与える影響は大きいものがある。加えて、最近の円安や世界需要ひっ迫による輸入飼料の値上げも酪農家のコストアップにつながり、原料乳が昨年10月から値上げした。4月の消費税値上げも価格転嫁が成功するか、低迷する牛乳消費にあたる影響が懸念されている。TPPの先行きも不安感を大きくしている。

〔パン製造業〕

25年度を通じて若干売り上げが減少。利益率も材料値上げにより縮小。アベノミクスの効果はまだまだである。

〈木材・木製品〉

〔建具・木工製造業〕

建築の遅れが生じ、当業界の内装仕上げ工事に影響が出ている。3月下旬は急速に仕事量が減少に転じる。

〔木材製造業〕

消費税前の駆け込み需要で少しは動いたが、増税後にどの位反動が来るのか判断が難しい。

〈鉄鋼・金属〉

〔銑鉄铸件製造業〕

生産は前年同期比で上回っており、回復の兆しはあるが、力強さを伴わない。電気量の上昇、原材料の円安による上昇が圧迫しており、厳しい状況は依然続いている。価格転嫁の動きを強めているが、交渉は難航している。

〈電気機器〉

〔電気機械器具製造業〕

3月度売上高は、先月より増加（前年同月比でも増加）。年度末の増産（納期確保）が好影響。産業ロボット関連は依然国内外共好調に推移しており、年度初めのスタートダッシュに期待している。

● 非製造業

〈卸売業〉

〔靴卸売業〕

消費税関連の駆け込み需要は、最後の2週間だけわずかに見られた。

〈小売業〉

〔燃料小売業〕

4月からの消費税増税に伴い、3月31日駆け込み需要でSSは大変な忙しさとなり、数量増販に大きく影響しました。

〈商店街〉

〔福岡市〕

消費税増税前のかげこみ需要あり、増税後の消費者の落込み又価格調整、他業態との競争さらに激化、収益確保、集客減少等問題が山積み。組合員の相互の信頼とコミュニティの充実に活路を見つけ出す。

〈サービス業〉

〔貸おしぼり業〕

4月から石油の高騰に伴いフィルムの値上げが始まることと消費税アップのため駆け込み注文が殺到したために前年度よりかなり売上高は上り気味に。

〔ビル管理業〕

平成26年度の4月からの消費税増税転嫁については、お客様のご理解もあり、順調に進んでいる。

〈建設業〉

〔総合工事〕

人手不足、資材不足のため長い納期の案件は受けられない。下請の発注金額が高くなり、工期も遅れている。このようなことから受注を控えるか断っている。仕事は忙しいが利益は出ていない。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

荷動きは、活発になっており、車両・ドライバー不足などを背景に運賃交渉の気運が高まってきている。しかし、景気の先行きが読みづらいことから二の足を踏むところが多い。

福岡県の業種別D・I値の変化

(福岡県中小企業団体中央会調査)

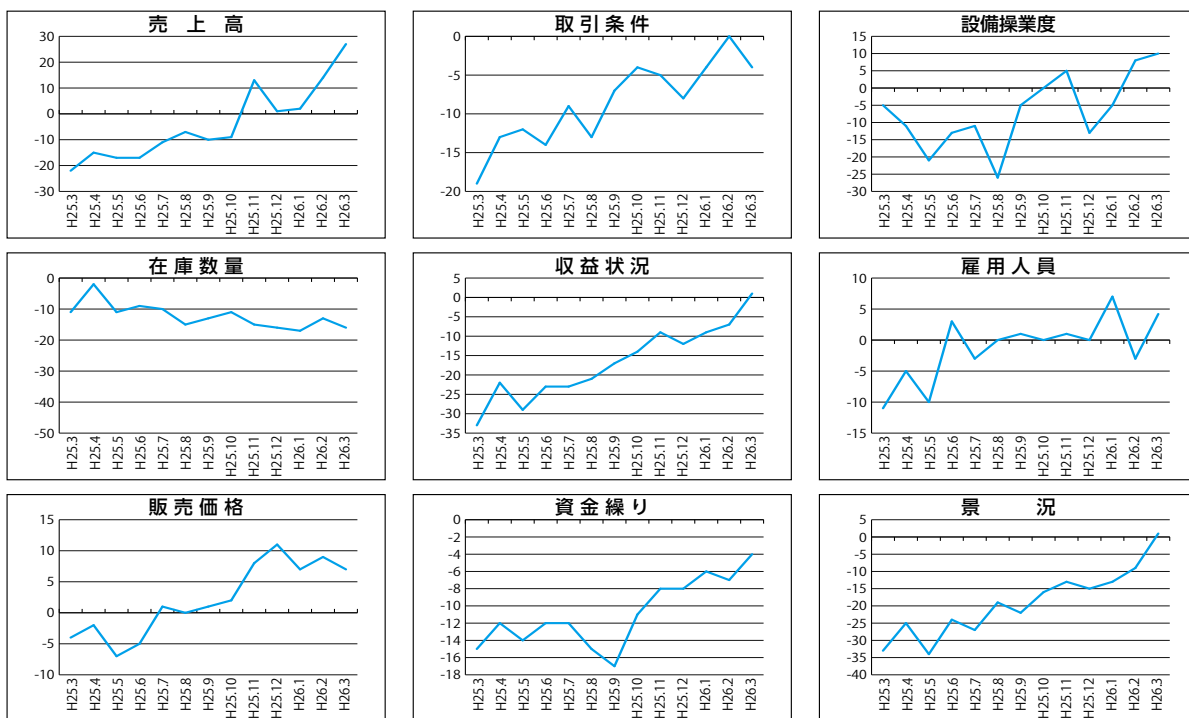
業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	→	↓	→	↓	↓	↓	↓	↑	↓
	繊維・同製品	→	→	→	→	→	↓	→	→	↓
	木材・木製品	↑	↓	↑	→	↑	→	↑	→	↑
	印刷	↑	↓	→	→	→	↑	↑	→	↑
	窯業・土石製品	↑	↓	↑	↑	↑	→	↑	↑	↑
	鉄鋼・金属	↓	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	一般機器	↑	↑	↑	→	↓	→	↑	↓	↑
	電気機器	↑	→	→	→	→	→	↑	→	↑
非製造業	卸売業	↑	↑	↓	→	→	↑	—	↑	→
	小売業	↑	→	→	↓	↓	↓	—	↓	↓
	商店街	→	↓	↑	↓	→	↓	—	↑	→
	サービス業	↑	—	↓	↑	→	↑	—	→	↓
	建設業	↑	—	↑	↑	↑	↑	—	↑	↑
	運輸業	↓	—	→	↓	↓	↓	—	↓	↓
D・I		27	-16	7	-4	1	-4	10	4	1

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

● 「売上高」D・Iは、前年同月比より49ポイント上昇している。

● 「景況感」D・Iは、前年同月比より34ポイント上昇している。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>